みずほCustomer Desk Report 2018/07/06 号(As of 2018/07/05)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	110.54 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.50	1.1660	128.82	1.3226	0.7379
SYD-NY High	110.74	1.1721	129.63	1.3275	0.7408
SYD-NY Low	110.29	1.1650	128.58	1.3204	0.7362
NY 5:00 PM	110.67	1.1692	129.39	1.3220	0.7387

NY DOW	24,356.74	181.92	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,586.43	83.75	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,736.61	23.39	米国2年債	2.5548	2.44bp
日経平均	21,546.99	▲ 170.05	米国5年債	2.7304	0.85bp
TOPIX	1,676.20	▲ 17.05	米国10年債	2.8318	0.00bp
ｼｶｺﾞ日経先物	21,725.00	▲ 10.00	独10年債	0.2955	▲0.75bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,603.22	30.13	英10年債	1.2575	▲1.60bp
DAX	12,464.29	146.68	豪10年債	2.5890	0.70bp
ハンセン指数	28,182.09	▲59.58	USDJPY 1M Vol	6.73	▲0.38%
上海総合	2,733.88	▲ 25.24	USDJPY 3M Vol	7.25	▲0.29%
NY金	1,258.10	4.60	USDJPY 6M Vol	7.60	▲0.18%
WTI	74.14	0.00	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	196.21	▲ 1.27	EURJPY 3M Vol	8.43	▲0.20%
ドルインデックス	94.47	▲ 0.20	EURJPY 6M Vol	8.72	▲0.14%

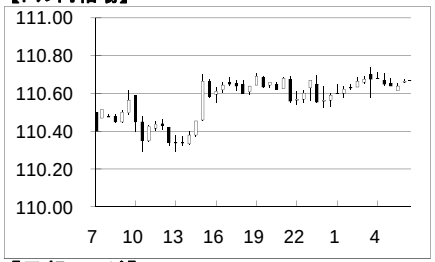
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
7月5日	21:15	米	ADP雇用統計	6月	177k	190k
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	231k	225k
	22:45	米	マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	6月	56.5/56.2	56.5/-
	23:00	米	ISM非製造業総合景況指数	6月	59.1	58.3

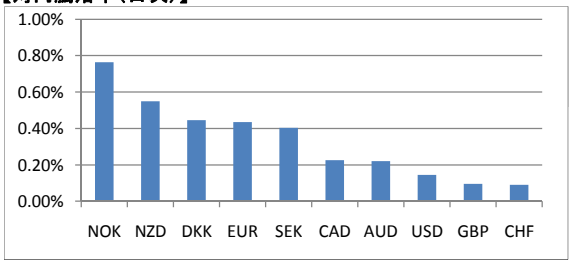
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
7月6日	21:30	米	貿易収支	5月	-$43.7b	-$46.2b
	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	6月	195k	223k
	21:30	米	失業率	6月	3.8%	3.8%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	6月	0.3%/2.8%	0.3%/2.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は110.50ﾚﾍﾞﾙでｽﾀｰﾄ。朝方はﾄﾞﾙ買い優勢となったものの、日経平均株価が前日比ﾏｲﾅｽに転じると、ﾄﾞﾙ円も110.29まで下落。正午にかけてはやや買い戻され、110.40付近でもみ合い推移となる。その後、ｲﾀﾘｱ･ﾄﾘｱ財務相が「誰もﾕｰﾛを離脱したいとは望んでいない」と発言したことや、本邦企業による米企業の欧州事業買収が公表されたことを受け、ﾕｰﾛ円が急伸しﾄﾞﾙ円についても110.70まで連れ高となった。その後は小幅に下落し、結局110.59ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、110.59ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。欧州時間は材料が少なく狭い値幅で推移し110.68ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.1691ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。日系企業による欧州事業買収の話や伊財務相発言に加え5月の独鉱工業指数が予想を上回り1.1711まで堅調に推移。その後やや利食われたものの、底堅く推移し1.1709ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは、1.3233ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。英中銀ｶｰﾆｰ総裁が英経済への強気の見方を示したことで8月の利上げが意識され1.3267まで買われ、1.3266ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のﾄﾞﾙ円は110.68ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米6月ADP雇用統計が予想を下回り(前回分は上方修正)、続いて発表の新規失業保険申請件数が予想対比悪化したことで、110.54まで下落する。その後はNY10時に発表された米6月ISM非製造業景況指数が、構成指数の新規受注等が前回から上昇したことで予想を上回る結果となり、110.69まで反発。NY午後に発表のFOMC議事録では、漸進的な利上げへのｺﾐｯﾄﾒﾝﾄが再確認され、高値110.74まで上昇するが、貿易政策を巡るﾘｽｸが強まったとの意見があったことが明らかになり、110.58まで反落する。終盤にかけては、翌日に米雇用統計結果発表を控えていることもあり、閑散な推移が継続し、110.67ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1709ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、米ADP結果を受けたﾄﾞﾙ売りに1.1721まで上昇するが、このﾚﾍﾞﾙでは売り意欲は強く、その後は1.1700を挟んでの推移が続く。午後のFOMC議事録を受けてややﾄﾞﾙ買いが強まり、1.1672まで下落するが、終盤に掛けては方向感の無い推移が続き、1.1692ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00－111.00	1.1650－1.1750	128.80－130.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は日経平均株価が下落する中、軟調推移となる場面も見られたが、本邦企業による欧州企業の買収ニュースや米欧間の貿易戦争懸念の一部が後退したことがサポート材料となったことで110.30付近から110.60付近まで小幅に上昇。その後、FOMC議事録が公表され、漸進的な利上げが再確認されたことで高値110.74を示現。終盤にかけては同水準での横ばい推移となった。本日は米国による中国への関税発動の期限であることや米6月雇用統計の発表が予定されていることからドル円はイベント待ちの展開となろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:田家